



世界ベテランズ国際柔道大会出場!!
講道館柔道八段 世界を股にかける柔道家
くらじろう
岡田庫二郎さん(82歳)中央町



11月18日から21日に米国で開催された世界ベテランズ国際柔道大会に参加した岡田庫二郎さん。敢闘賞を獲得しました。

この大会は、30歳以上の柔道経験者を対象に5歳刻みの重量別で試合を行うものです。今回は、所属する80歳から84歳の部・60kg以下級の参加者が少なく、トーナメントが組めなかったため、順位は付きませんでした。平成15年に世界大会に初出場・初優勝して以来、世界の舞台で数々のメダルを獲得してきた歴戦の

柔道家です。

そんな岡田さんの強さの秘訣は日々の鍛錬。平日は毎日、豊岡総合高校で1時間の練習に励んでいます。

座右の銘は「柔道とは人を投げ捨てるに非ず。己の非を捨てるに在る」。強さだけでなく精神の修養に努める岡田さんの人柄がよく表れています。

今後の目標は、世界大会でまた金メダルを取ること。「子どもにお金は残せないが、もっと大きな丸いもの(メダル)をたくさん残します」とちゃめっ気たっぷり語ります。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲大会の様子

新春麻雀競技大会
卓を囲んで地域交流

1月9日、弘道地区公民館で、公民館主催の「第5回新春麻雀競技大会」が開催され、常連や初参加の人など24人が参加しました。

日本プロ麻雀連盟のルールにのっとり点数競技で、1人3試合行い、各試合終了時の持ち点によってポイントが与えられ、その合計が最も多い人が優勝です。

競技でありながらも、和気あいあいとした雰囲気、参加者は楽しく交流していました。

公民館長の片山正之さんは「普段は女性の利用が多いが、年に一度、地区の男性が集まって、自主的に運営している」と公民館行事を通じての交流の広がりについて話していました。

お正月遊びを楽しもう

世界に一つだけのたこを作成

1月11日、但東子育てセンターで、正月遊びを楽しむイベントが開催され、0歳から4歳までの乳幼児7人と保護者の計13人が参加しました。

にわたりの絵の福笑いや羽子板、こま回しが行われた他、用意された台紙に好きな絵を描き、足とひもを付けた世界に一つだけのたこを作成。幼児らは、できたてのたこを片手に会場内を走り回り、たこ揚げを楽しみました。

生後6カ月の歩君と参加した吉永亜紀さん(但東町出合)は「但東に引っ越して来ていろいろと不安でしたが、ここではたくさんの人と知り合うことができ、心強いです」と幼児や保護者らと季節の行事を楽しんでいました。



▲親子でたこ作り



「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。